

初・再診引き上げへ

スタディモデルなどを包括

2010年 診療報酬改定

次期改定をめぐっては、厚労省から諮問された基本方針をうけて、中医学協が検討を進めている。3月に開かれた中医学協に、2010年歯科診療報酬改定の関連項目資料として「骨子における『四つの視点』関連項目（歯科診療報酬改定関係）」が提出された。

内容は、①在宅歯科診療の推進②障害者歯科医療の充実③在宅及び障害者歯科医療の後方支援病院の機能強化④患者の視点に立った歯科医療⑤生

活の質に配慮した歯科医療の充実⑥エックス線撮影料の評価体系の見直し⑦歯科固有の技術の評価の見直し⑧歯科矯正診断料の施設基準等の見直し

⑨新規医療技術の保険導入の9点である。

ポイントとなるのは、基本診療料や管理料での変更点だ。基本診療料は、本来安全な歯科医療を患者に提供するために必要な医療の設備等の維持費に対する評価だが、歯科診療報酬体系の簡素化を理由にスタディモデルや歯科疾患管理料の基本的な医療行為を初・再診料に包括して、評価する。

新点数中央説明会

場所 御堂会館(中央区・本町)
日時 3月22日(月・祝)
※午前・午後とも内容は同じです
午前の部 10時15分～12時30分
《会員限定(引換ハガキ持参者)》
午後の部 13時15分～15時30分
《会員(引換ハガキ持参者)及び同院所の同院所スタッフ。同院所の未入会歯科医師は1万円》
講師 協会社保研究部・同政策部講師団
案内 3月上旬「入場・引換ハガキ」をお届けします。
※当日は必ずご持参ください
会費 会員無料(資料1冊は「引換ハガキ」と交換)



大阪府歯科保険医協会 敬志岐
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
2/15 2010年第1034号
(毎月5、15、25日発行)

改定の概要は8面

大阪府は来年度予算案で、乳幼児医療費助成が就学前未実施の池田市や四條畷市など府下13市町に対し、制度拡充のための特別補助を検討していることが分かった。橋下知事による予算案の審議は、16日に決定するが、府の担当課は「予算がつかない可能性もある」との見方を示している。

大阪府 乳幼児助成で補助検討 異例な手法に自治体の反発も

乳幼児医療費助成の就学前引き上げは、橋下知事が政権公約で掲げているが、手つかずの状態だ。重点事業にも指定されていないが、知事自身、昨年11月5日の戦略本部会議で「子育て施策

の優先順位は低くなる」と発言。消極的な姿勢を示している。府の乳幼児医療費助成制度は、対象年齢が3歳未満で全国最低水準だ。そのため、市町村が独自に府の制度に上乗せし、30市町が就学前の子どもに助成している。一部の

特別補助は時限措置で、計上額は2億5342万円。現行3歳未満の府の制度を一律就学前に拡充した場合に必要な予算(12億円)のわずか5分の1に過ぎない。来年度予算案をめぐっては、橋下知事肝いりの水都関連事業費に10億円以上、

WTCビル購入費に約85億円などを見込んでおり、府民生活支援が開発優先か、知事の政治姿勢が問われている。就学前未実施の13市町に協会が独自調査したところ、守口市・泉野市・高石市・泉南市を除く9市町が府の補助制度成立に伴い、対象年齢の引き上げを検討すると回答した。

忠岡町は10月に拡充忠岡町は協会の問い合わせに対し、「特別補助の有無に関わらず10月から就学前に引き上げる予定」であることを表明した。

乳幼児医療費助成の特別補助対象の13市町
※カッコ内は現行制度
(3歳未満) 池田市、守口市、四條畷市
(4歳未満) 岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、門真市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、岬町

大阪府歯科保険医新聞2月5日付の1面「12月生涯研修講座」記事で、見出しと本文39行目に「診療内科」とあるのは、「心療内科」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

今号の機関紙をお送りした封筒の内容物一覽の中に、全国保険医新聞と明記されていますが、全国保険医新聞は「診療報酬改定特集号」として後日お届けします。ご了承のほどお願い致します。



歯周病治療が糖尿病患者の血糖コントロールの改善に寄与すると指摘する西村氏＝1月24日、M&Dホール

1月生涯研 糖尿病と歯周病の関係 歯周病治療が血糖値改善に寄与

歯科臨床・学会学芸部は、西村英紀氏(広島大学大学院医歯薬学総合研究科健康増進学教授)を講師に、1月度生涯研修講座「メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病」を1月24日、M&Dホールで開き

64人が参加した。西村氏は、肥満・糖尿病患者は歯周病になりやすく、肥満で糖尿病の人はより重症化しやすいと、糖尿病と歯周病の関係について説明した。

同氏は「たとえば成人の歯が28本すべてに5、6mmの歯周ポケット(中程度の歯周炎)を有するとすれば、生体が嫌気性菌の塊と接する面積はおよそ手のひらサイズとなり、その内毒素は白血球

1950年以来、糖尿病患者の推移は車の保有台数の伸びと比例するよう増加している。脂肪

からのTNF- α (炎症性サイトカイン)産生を強力に誘導する。またTNF- α はインスリン抵抗性の原因分子となる」と指摘。このことから、歯周病治療が糖尿病患者の血中TNF- α の低下、血糖コントロールの改善に寄与すると言った。また肥満も炎症で、種々の病態形成に関与していると考えられるとした。

今後肥満や糖尿病患者の歯周病の予防や、進行を防止することはますます重要となってくる。歯周病と糖尿病の関係に注目し、歯周病ケアの観点に立ち歯科から医療への発信が必要となってくると感じる講習会であった。(高石市・兵頭正道)

歯周基本治療は引き上げだが、3分の1超の加算を引き下げ、歯周基本治療処置の新設、これまで実施時期が3つに分かれていたSPTは一本化されている。う蝕処置、う蝕無痛窩洞形成加算、根管粘着処置の引き上げが示された。口腔内消炎手術の評価を引き下げ、手術後の列期歯周組織検査が新設される。

組織部からお知らせ 会費の減免制度
70歳以上は減額 75歳以上は免除
休保・年金の掛け金払い込み中は適用外
15年以上継続して協会の会員であり、①満70歳以上の開業医会員の方は会費を減額(5500円→3000円)、②満75歳以上の方は会費を免除となる制度があります。ただし、本人が協会の休業保障制度または保険医年金制度のいずれかの掛け金払い込み中は対象外となります。なお、会費免除となった先生方には『大阪歯科保険医新聞』のみをお届けし、協会発行書籍は配布していません。ご了承ください。

冬期オリオンピックとパラインピックが始まりの丸が上がる。この期間に民族主義が高揚するのはこの国も同様だが、日本では待望のヤパンとか武士道が賛美される。フランスのロマン主義文学でも騎士道が好んで描かれるが、日本の大衆文学も鬪物(まげもの)が主流である。だが武士道賛美は忠臣蔵くらいで、大抵は侍の見栄と虚栄、本音と建て前の矛盾の馬鹿馬鹿さが活写される。



冬期オリオンピックとパラインピックが始まりの丸